

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成23年10月13日 (2011.10.13)

【公開番号】特開2010-55514(P2010-55514A)  
 【公開日】平成22年3月11日 (2010.3.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-010  
 【出願番号】特願2008-221973(P2008-221973)  
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 2 0 0 E

H 0 4 N 5/225 F

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

H 0 4 N 5/76 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年8月26日 (2011.8.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段と、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段と、

前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段と、

前記対象物指定手段により指定された対象物の種類を特定する種類特定手段と、

前記種類特定手段により特定された前記対象物の種類に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記判定値変更手段は、前記対象物の動きの大きいもの程低くなるように前記所定の判定値を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段と、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段と、

前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段と、

前記画像の拡大縮小倍率を取得する倍率取得手段と、

前記倍率取得手段により取得された前記拡大縮小倍率に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記判定値変更手段は、拡大倍率が大きいものの程低くなるように前記所定の判定値を変更することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

複数の画像を記憶する画像記憶手段と、

前記画像関連処理制御手段は、前記画像関連処理として、前記画像記憶手段に記憶されている前記複数の画像の中で所望の画像を検索する検索処理を行う画像検索手段と、を更に備え、

前記画像検索手段は、前記複数の画像のうち、前記類似度が所定の判定値以上であると判定された何れかの画像を前記所望の画像として特定することを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記画像検索手段により前記所望の画像として特定された画像を表示する表示手段を更に備えることを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

対象物を撮像する撮像手段を備え、

前記画像関連処理制御手段は、前記画像関連処理として、前記撮像手段による前記対象物の撮像を制御する撮影制御手段を備え、

前記撮影制御手段は、前記類似度が所定の判定値以上であると判定された場合に、前記撮像手段に前記対象物を自動的に撮像させることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記所定の判定値を任意に設定指示する判定値指示手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 ~ 7 の何れか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段を備える画像処理装置のコンピュータを、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段、

前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段、

前記対象物指定手段により指定された対象物の種類を特定する種類特定手段、

前記種類特定手段により特定された前記対象物の種類に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段を備える画像処理装置のコンピュータを、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段、

前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段、

前記画像の拡大縮小倍率を取得する倍率取得手段、

前記倍率取得手段により取得された前記拡大縮小倍率に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明の画像処理装置は、

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段と、新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段と、前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段と、前記対象物指定手段により指定された対象物の種類を特定する種類特定手段と、前記種類特定手段により特定された前記対象物の種類に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項3に記載の発明の画像処理装置は、

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段と、新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段と、前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段と、前記画像の拡大縮小倍率を取得する倍率取得手段と、前記倍率取得手段により取得された前記拡大縮小倍率に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項9に記載の発明のプログラムは、

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段を備える画像処理装置のコンピュータを、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段、前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段、前記対象物指定手段により指定された対象物の種類を特定する種類特定手段、前記種類特定手段により特定された前記対象物の種類に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段、として機能させることを特徴としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

請求項 1 0 に記載の発明のプログラムは、

画像関連処理に係る対象物を指定する対象物指定手段を備える画像処理装置のコンピュータを、

新規に取得した画像内に、前記対象物指定手段により指定された対象物に相当する相当物が存するか否かを判定するとともに、存すると判定された前記相当物と前記対象物指定手段により指定された対象物との類似度を算出する類似度算出手段、前記類似度算出手段により算出された類似度が所定の判定値以上であるか否かに応じて前記画像関連処理の内容を異ならせるように制御する画像関連処理制御手段、前記画像の拡大縮小倍率を取得する倍率取得手段、前記倍率取得手段により取得された前記拡大縮小倍率に応じて前記所定の判定値を変更する判定値変更手段、として機能させることを特徴としている。